

2010/

## 9月4日のアジェンダ NPO ふくてっく 定例会

司会 津田会員 書記 佐久川会員  
場所 大阪市立社会福祉センター3階

## 特定非営利活動法人ふくてっく 第9回 定期総会

日時：平成22年9月4日 午後11時00分開始 場所：大阪市立社会福祉センター3階会議室/大阪市天王寺区東高津町12-10

議事 事務局より総会出席状況報告

会員数 37名（・正会員30名 ・学生会員0名 ・通信会員7名 ・賛助会員0社）

出席 30名（委任状提出7名）：合計 37名

- 1号議案 議長の選任  
議長は総会当日に正会員の中から互選により選出
- 2号議案 議事録署名人の指名  
議長は、登壇して、以後の議事進行を司る  
議事録署名人（正会員中2名）を指名
- 3号議案 平成21年度活動報告  
各部長（副部長）による各部活動報告
- 4号議案 平成21年度決算報告  
事務局より法人決算報告
- 5号議案 同上に係る監査報告  
秋岡監事より報告
- 6号議案 平成22年度活動計画  
各部長（副部長）による活動計画の報告
- 7号議案 平成22年度予算計画  
事務局より法人の活動計画の報告

## \* 事務局報告 \*

和泉 会員

- 10月定例会会場について ←ATC11階 エイジレスセンター
- NPO法人の設立承認等事務手続き窓口が権限も含め大阪府から大阪市役所市民局市民部市民活動担当に変わりました。
- 「For ALL」NPO法人エフ・エー 回覧します。
- 9/4(土)11:00~12:30 広報チーム打合せ HP担当（リーダー・苅田会員）及びリーフレットグループ（リーダー・和泉会員）と会誌グループ（リーダー・後藤会員）に分担して取組んでいきます。  
リーフレットグループからのお願い：リーフレットにふくてっくの“キャッチコピー”を考えて下さい。  
他団体もインパクトのあるキャッチコピーで、活動がわかる、参加意欲をそそられる物も見受けられます。  
ご意見お待ちしております。  
次回は10/2(土)定例会前11:00~12:00予定

## 1. 研修部会

鎌田 会員

- パソコン教室 日時：10/2（土）10：00～12：00 参加費500円 ←会場はATC11階エイジレスセンター

## 2. 東大阪部会

清水 会員

- 9月検証活動は9/2・9・16・22・30、 事前相談会は9/2・16 部会は9/18
- 大阪府下高齢者・重度身体障がい者住宅改造費助成事業実態調査 実施

## 3. こむねっと部会

中北 会員

- 第三者評価 あいあい福祉会自己評価は届き、内容吟味の上で訪問調査を実施する(日程未定)担当は木村・清水・中北  
9/24第3回専門部会 居宅サービスの評価項目および評価者継続研修の吟味  
第2回会議（8/27）では居宅サービスの評価項目を31項目に絞りました。
- ななとこ庵 9月からサロンは木・日を除く毎日開店しています。  
9月 高齢月間 9/4「老いの支度講座」 高齢者向き歌声喫茶など  
10月 文化月間 地元のオカリナ・フルート愛好家による音楽会  
11月 お地藏さんのお披露目 これにむけて9月中旬に祠デザインを決め、製作にかかる  
お披露目会は23日 当日は子ども対象の楽しい企画 ミニ木工教室(木工部会協力)・たこ焼き  
12月 もちつき(23日)  
1月 ふくてっく定例会(8日) 鏡開き (22日)
- 青葉園 9月下旬に日本財団からの補助決定通知(うまく行けば・・・)  
10~11月 実施設計と業者選定  
12月~3月 施工 この中で、2・3月にふくてっくの活動機会を創る  
4月 開所

<b>4. 福祉用具部会</b>		古場 会員
日時 9月13日(月) 10:00~12:00 場所 ATC 11Fふくてっく事務局内 内容 CADソフト操作法の学習・車椅子のデータ化検討		
<b>5. 木工部会</b>		西川 会員
①9月度木工部会の活動日は9月11日(土)と25日(土)の2日間です。ふくてっく工房10:00~15:00 ②9月度は対外活動はありません。		
<b>6. 住環境研究部会(旧住宅改修部会)</b>		畑 会員
H22年度のテーマ 「高齢者専用賃貸住宅」 9月18日勉強会 13:30~16:30 大阪市立社会福祉センター104号室 ←中止 第1回「高齢者専用賃貸住宅の基礎知識・・・法律等について」「ほろ酔い勉強会」は今後、中止		
<b>*ぼとむあっぷ*</b> (活動懇談会/検討会議)		西川 会員
① 来年1月8日ふくてっく定例会 会場：ななとこ庵 内容：未定(岡会員担当) ② ななとこ庵・野田地域住民との協働について ←8/22野田小学校にて地域の木工教室。高度な技術をお持ちで、ななとこ庵祠製作を含め、木工部と協働で作業を行うことを検討。 ③ ふくてっく定例会会場について ←社会福祉センターの予約が取りづらくなっているが、他にはなかなか条件の合う会場が見つからない。今後も引き続き、ATCの利用も含め、候補となる会場は検討を続ける。		
<b>*学 習 会 *</b>	中国医学の真髄「身体のサインで病気がわかる」	
	講師：当内知恵子氏 アナウンサーを経て、植栽業社にて環境カウンセラー。退社後中国医学系大学で勉学、平成20年卒業 約15年前に会社設立。7年前、突然のご主人の死を受け入れられず悲しみの日々を送るうちに東洋医学と出会う。 退社後、東洋医学系大学の社会人枠に半ば強引に入学。解剖生理学、中国語など高度な授業についていくことは大変であったが、悲しみ続けることよりも苦しみがらも学ぶことを選び、本人の努力と周囲の協力により無事卒業。 その間に、当初は知識としての解剖生理学が主な目的であり鍼灸を信用していなかったが、自らの腹痛をその時覚えたばかりの鍼治療で治めたことを機に東洋医学に目覚める。 鍼灸や漢方による治療は既にドイツやフランスでは保険が適用されるなど社会的に認められており、日本が特に遅れている。また上海では日本の医療保険が利用できる。しかし日本では依然として西洋医学中心の医学界であり、約40兆円の医療費予算も治療よりも研究に多くを費やされ行き詰まっている。 東洋医学の考え方は、西洋医学が部位、臓器単位での治療であるのに対し、全身で一つと考えた治療を行う。その中には連携している臓器同士だけでなく、一見直接関わりがないように思える臓器が互いに影響を及ぼし合い、病を引き起こすこともある。また、人体は60兆もの細胞からなり、その細胞一つ一つが食べ物からなっていると考えると、食べ物で治らないものは治らない。 東洋医学は陰と陽のバランスから成る。足りないものを無理に補うばかりでなく、余りあるものを少し抜くことによってもバランスはとることができる。症状に応じて適したものを摂ったり治療に用いることだけでなく、食事を減らしたり抜くことにより、本来持つ自己免疫力を高めることも重要。病気は自分で作っていることも多いので、出来るかぎりストレスをためず、日頃から体によいものを適量摂ることが大切である。 これらは、中国最古の医学書「素問」にまとめられており、関連書籍も多数出ているので、興味があれば各自読んでみて欲しい。	
<b>*名札の回収タイム*</b> (名札を集めます。返却にご協力ください。)		
<b>*にこにこタイム*</b> (会員による、個人の情報発信コーナー)		
「砂川恵理歌」情報：「一粒の種～合唱～」がFM大阪9月度PowerPlayに決定(佐久川)		
<b>*初参加者の感想*</b> (初参加者には例会参加の動機、参加した感想など一言お話しいただきますのでご協力ください)		
<b>*次回例会の司会・書記の予定*</b>		
<b>*平成22年10月2日*</b>	司会：畑 会員 書記：清水 会員	五十音順です。予定者の都合が悪い場合は、次の会員が担当となります。司会予定/・中北会員・林田会員・春岡会員
<b>*次回以降の予定*</b>		
10月2日(土)13:30~17:00頃 内容 ■学習会未定	会場：ATC11階 エイジレスセンター ■活動報告・懇談会等	
11月6日(土)13:30~17:00頃 内容 ■学習会未定	会場：未定 ■活動報告・懇談会等	
12月4日(土)13:30~17:00頃 内容 ■学習会「釜ヶ崎(西成)単身高齢者の生活支援について」さつきつつじ会	会場：未定 ■活動報告・懇談会等	